

第49回武豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和7年3月6日（木）

10：30～12：00

武豊町役場 北庁舎2階 全員協議会室

○司会（田中課長）

- ・それでは定刻となりましたので、ただいまから「第49回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、防災交通課 課長の田中孝往と申します。よろしくお願いいたします。
- ・次に、欠席者・代理出席者のご報告をさせていただきます。欠席者につきましては、1番武豊町議会議長の青木委員、15番愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事の桑山委員、16番愛知県都市・交通局交通対策課担当課長の石屋委員、17番愛知県知多建設事務所維持管理課課長の伴野委員から欠席のご連絡がありました。代理出席者ですが、10番愛知運輸支局の宮川委員から代理で渥美様に出席をさせていただいております。本日の出席者数は15名です。会議規約の第6条第3項の規定による、過半数を超えるご出席をいただいておりますので、本日の開会要件を満たしております。
- ・あわせて、本日の傍聴人は1名です。なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願いいたします。

1. 委嘱状交付

○司会（田中課長）

- ・新しく委員になられました3名の委員のご紹介をさせていただきます。お名前を読み上げますので、その場でお立ちください。
名簿の2番 長尾部長 青木 宏和（あおき ひろかず）様
3番 大足区区长 出口 晋（でぐち しん）様
4番 富貴地区区長会会長 渡邊 好文（わたなべ よしふみ）様
- ・委嘱状を交付させていただきます。

○司会（田中課長）

- ・続きまして、次第の「2. 会長あいさつ」です。靄山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

○靄山会長 武豊町長

・おはようございます。本日はご多忙の中、第49回武豊町地域公共交通会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。委員の皆様には、日頃からそれぞれのお立場で町行政及び公共交通事業に対しまして、ご支援ご協力を賜っていることに、この場をお借りしまして、改めてお礼を申し上げる次第でございます。

- ・さて、コミュニティバスの利用者数の推移につきましては、順調に増加しており、昨年の同時期の73,075人に対して81,886人と大変多くの皆様に利用していただいております。
- ・私からは、本日の報告事項にもあります、「武豊町公共交通アンケート調査結果」について、主なご意見をご紹介します。まず、ミニバスを含む台数の追加や双方向運行をしてほしい。それから、運行時間の延長や増便をして欲しい。それから、広範囲ではない、細かなルート設定をしてほしい。そして、接続タクシーの利用範囲の拡大など様々なご意見をいただきました。詳細につきましては後ほど、事務局よりご報告させていただきます。
- ・このアンケート結果は、令和7年度に予定をしております、住民ワークショップで、住民の皆様のご意見としてご紹介をさせていただき、令和8年度に予定をしております、「武豊町地域公共交通計画」の見直しに役立てて参ります。
- ・そして今後も皆様にコミュニティバスをご利用していただきますよう、引き続き調査研究を進めて参りたいと思っております。
- ・本日は報告事項3件、議案1件を予定いたしております。委員の皆様から、忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

3. 報告事項および議案

(報告事項)

●報告事項1 本町における地域公共交通の利用実態について……資料1～4

○嶋田座長

- ・それでは、次第のとおり進めさせていただきます。
- ・報告事項1の「本町における地域公共交通の利用実態について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・ありがとうございました。何かご意見ありますでしょうか。
- ・コミュニティバスの利用者数がコロナ前より多く推移している状況であり、良いと思う。
- ・接続タクシーについては、場所によってかなり差が出ている。資料2-1において、多い所と言うと、赤ルートの新鹿子田橋南の利用が多いのはなぜか。わかる範囲で教えて欲しい。

○事務局（岩川）

- ・わかる範囲であります。障がいをお持ちの方が青山駅に向かう際に、往復で使っていただいております。

○嶋田座長

- ・この方だけ利用されているのでしょうか。

○事務局（岩川）

- ・その方だけが、生活の一部として、移動の足として使われております。

○嶋田座長

- ・これまでの合計で言うと、1,297回運行していて1,081回をこの方が使っているのですが、この方専用のようなシステムにはなっていますが、その方の足をしっかり確保しているという面では良いかと思う。
- ・武豊町では福祉有償運送はされていたか。

○出口委員 大足区区長

- ・十数年前までは1箇所実施していた。ドライバーの定足数、利用する人をどう選ぶか、運営上、財政上などの問題もあり、現在は実施していない。

○嶋田座長

- ・この方にとっては役に立っているという事だと思う。

○事務局（岩川）

- ・他には福祉面で、介護が必要な方にはタクシーチケットを配布する別の制度などもあります。

○嶋田座長

- ・資料1でコミュニティバスの利用実績は増えているという事だが、一方で、運賃収入自体はあまり増えていない。高齢者を無料にした影響が大きいか。

○事務局（岩川）

- ・令和元年10月から無料乗車券の制度を実施しておりまして、資料1は省略しておりますので記載していませんが、無料乗車券の制度をスタートしてからは運賃収入が減少し、現状のような数字になっております。

○嶋田座長

- ・高齢者の利用が伸びているということで理解した。
- ・他にいかがでしょうか。特に無いようなので、次に進みたいと思います。

●報告事項2 コミュニティバス停留所(3か所)の移設について……資料5

○嶋田座長

- ・続きまして、報告事項2の「コミュニティバス停留所（3か所）の移設について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・ありがとうございました。何かご意見ありますでしょうか。

○金森委員 知多乗合株式会社取締役社長

- ・コミュニティバスの運行を受託しているが、1点確認で、安全運行の観点から、知多乗合の方には意見照会していただいているか。

○事務局（岩川）

- ・担当者の方へダイヤ関係含めて資料を見ていただき、調整をさせていただきます。

○金森委員 知多乗合株式会社取締役社長

- ・資料に記載がなかったかと理解しました。

○事務局（岩川）

- ・資料への記載が無く失礼いたしました。

○嶋田座長

- ・関係機関等のところへ記載すれば良かったかと思う。
- ・資料5の1ページ目、関係機関等への申請および確認で、道路管理者への申請で廃止とはどういう意味か。

○事務局（岩川）

- ・県道の路側帯へ停留所を設置していましたので、愛知県に道路占用の廃止手続きを行い、新たに民地の方へ承諾をいただき、移設をしたこととなります。

○嶋田座長

- ・道路上にあった停留所を民地へ移設したことに伴う廃止という事で理解した。
- ・関係機関の方には了承をいただいているということなので、特に問題は無いかと思う。
- ・他にいかがでしょうか。特に無いようなので、次に進みたいと思います。

●報告事項3 武豊町公共交通に関するアンケート調査結果について……資料6

○嶋田座長

- ・続きまして、報告事項3の「武豊町公共交通に関するアンケート調査結果について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・ありがとうございました。何かご意見ありますでしょうか。

○出口委員 大足区区長

- ・アンケートは毎年行っているものか。

○事務局（岩川）

- ・同様のアンケートにつきましては、5年前の令和元年度に実施しています。

○出口委員 大足区区长

- ・公共交通、コミュニティバスを利用される対象の方は移動弱者の方だと思っている。このアンケートでは、無作為に3,000人の方を対象にしているので、本当に欲しい情報が得られるかという疑問がある。ただ、ある程度分かってきた部分もあるかと思う。
- ・今日の会議の前に、役場前の停留所で見えていたが、8割近い乗車があった。ほとんどが高齢者と、中には精神障がいの方かと思われる方が乗車していた。使われる方はこういった方々で、今後、高齢化が進んでいくと、さらに高齢者が増えるイメージを持っている。その上で、どう進めていくかについては、ただ費用対効果だけではなく、移動弱者の方がしっかりと移動が確保されるという視点が必要だと思う。
- ・原田区などバス停から少し離れたところから利用しづらい、区によっては利用しづらい区があったりするかと思うので、そういった所からの意見は集められているか。もしわかることがあれば教えてほしい。

○嶋田座長

- ・1点目は利用者への意識、2点目は空白地域への対策の話である。

○事務局（岩川）

- ・現状は主に高齢者や障がい者の方が使われている。もちろん、そういった方の移動の足がなくなってしまうと思っておりますので、確保・維持しつつ、今回アンケートで運行時間の延長や車両の追加のご意見をいただいております、アンケート結果を基に引き続き検討していきます。
- ・原田区などバス停から遠い地域については、アンケートの中でお住まいについても聞いておりますので、例えば、原田区の方がどのようにお答えしているのかというクロス集計での確認や、これまでも原田区の方からご意見いただいておりますので、また今後に向けてその点も要検討部分として考えて参ります。

○嶋田座長

- ・アンケートでも利用者や地区別のクロス集計はできるため、ぜひ検討いただきたい。

○青木委員 長尾部長

- ・コミュニティバスの逆ルートの検討について、過去の議会答弁では、できるという回答があった。なかなか逆ルートについては出来てこないが、その辺の考えはどうか。

○事務局（田中課長）

- ・今回のアンケートでもそのようなご意見について確認いたしましたので、今後のワークショップ等でもみなさんのご意見を伺って、逆ルートが良いのか、便数を増やすのが良いのか等を検討していくことになります。

○青木委員 長尾部長

- ・便数を増やす事が良いと思うが、費用の問題があると思う。また、運行時間の延長も朝7時から夜20時、21時と他市町がやっているようにやると、車両1台につき運転手が1日2人になるということで費用の問題があると聞いているが、検討を進めてほしい。
- ・半田病院の移設によって今後検討していく必要があると思うが、今の段階でどのような考えがあるか伺いたい。

○事務局（田中課長）

- ・新半田病院についてですが、現状は知多半田駅を経由したアクセスが考えられています。4月1日の新病院開院後は、知多半田駅から新病院まで半田市が新しい運行ルートを開設しますので、今後、どのような状況になるかはわかりませんが、今の考えでは新しく開設されるルートを利用させていただきたいと考えています。

○青木委員 長尾部長

- ・青山駅からルートを延ばす考えや、名鉄を利用すべきというご意見もあるかと思う。今の状態だと時間的にルートを延ばすことは難しいが、半田市に青山発のルートを頼んだりできないか。

○事務局（池田総務部長）

- ・コミュニティバスの新半田病院との関係につきましては、先日、議会の一般質問でもいただいています。その際に、地域公共交通会議の中で、そういった機会はないのかというご質問もいただきました。青木委員からもそのようなご意見をいただきましたので、この地域公共交通会議の中でも、どのような方法が良いのか、青山駅より先に延ばすのは、現状の台数と時間数では対応ができません。そうしますと、どういったやり方が良いのか、もう一台増やすのか、もしくは違うルートを作るのかという事も考えられます。そういった事を地域公共交通会議やワークショップにて、もう少し深く検討させていただけたらと思っております。

○青木委員 長尾部長

- ・プールができたので、プールを中心としたバスのルートについて、検討するという返事はもらったが、その先がなかなか進んでいない。どのような考えになったか教えて欲しい。

○事務局（池田総務部長）

- ・今はプールの敷地内には入っておらず、国道側へ停留所を設置しております。昔4ルートあったものを現状2ルートにして運行しております。現状のルートが、最大の効果をあげられていると思っていますので、この先については、慎重に議論させていただきたいと思っております。

○青木委員 長尾部長

- ・検討していただきたいと思う。プールは一応、高齢者福祉センターという名前もあり、高齢者が使いやすいようにしていく、そのために色々な施設を作っているわけなので、高齢者が利用しやすいように考えていただければと思う。

○出口委員 大足区区長

- ・青木委員に伺いたい。国道から1分もかからずにプールへ歩いて行けると思うが、ロータリーに乗り入れる必然性があるということか。

○青木委員 長尾部長

- ・色々と視察に行き、プールを中心とした送り迎えにすると、プールの利用者数が伸びるということがあったため、一度その点を検討してもらえると良いという事。また、高齢者福祉センターという事で、以前は送迎のバスもあったので、それも兼ねてという事をお願いをした。

○出口委員 大足区区長

- ・利用する高齢者像をはっきりと把握してやらないと、実際乗り入れたが、そこで利用する人が降りるかは別問題だと思うので、そこは慎重に検討しなければならないと思う。
- ・ワークショップで地域の声を聞くのは大切だと思うが、利用者アンケートのほか、各区の老人会等へインタビューという形で、ご利用されている高齢者等へ聞き取りをした方がニーズの把握には良いかと思うのでぜひ次回は検討いただきたい。

○事務局（田中課長）

- ・貴重なご意見として承ります。

○嶋田座長

- ・今回住民アンケートだが、利用者アンケートは今後実施するか。

○事務局（岩川）

- ・令和5年度に利用者アンケートを実施していますので、その内容を確認しながら、また、高齢者の方が集まる現場にというご意見もいただきましたので、その点につきましては、検討していきたいと思えます。

○渥美代理 愛知運輸支局

- ・アンケートの回収率も高く、良いデータが得られていると思う。先ほど、クロス集計の話があったが、年代ごとのクロス集計を見ると高齢者だけではなく、若い人の意見も出せると思う。令和8年度の地域公共交通計画の見直しやワークショップの際にも、色々な方の意見を聞きながら、役立ててもらえればと思う。

○嶋田座長

- ・アンケートの取り方について、資料6の1ページ、調査概要のところ、年齢階層の無作為抽出とは、年齢構成比率に合わせて部数を配布されたということか。年齢層が多いところは多く配布し、少ない年齢層のところは少なく配布しているという事で良いか。

○事務局（岩川）

- ・おっしゃるとおりです。

○嶋田座長

- ・回収率について、37.4%は自治体がやるアンケートの平均的な回収率だと思う。WEBでの回収はどのくらいあったか参考までに教えて欲しい。最近は良くWEBでの回収もあり、若い人はWEBで回答いただく傾向にある。

○事務局（岩川）

- ・WEBでは400票弱回収されているかと思います。

○嶋田座長

- ・統計的には問題ないかと思う。色々なクロス集計の分析が取れるかと思う。
- ・他にいかがでしょうか。特に無いようなので、次に進みたいと思います。

（議案）

●議案第1号 令和7年度武豊町地域公共交通事業計画(案)について……資料7

○嶋田座長

- ・ここから、議案となります。議案第1号「令和7年度武豊町地域公共交通事業計画（案）について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・何かご質問・ご意見があればよろしくお願いいたします。

○青木委員 長尾部長

- ・青ルートについて、電気自動車に変えたことによるメリットとデメリットは何か教えてほしい。

○事務局（岩川）

- ・メリットについては、ゼロカーボンシティ宣言をした町として、排気ガスが出ない車両を導入したことによる環境面でのメリットが一番大きいかと思います。デメリットにつきましても、今後の赤ルートの車両更新時にも考えていくことにはなりますが、充電の必要がありますので、走行距離がある中で十分な充電時間が確保できるかという課題があると考えています。

○青木委員 長尾部長

- ・充電については高速充電があるので考えてもらいたい。
- ・燃料費の観点からはどうか。

○事務局（岩川）

- ・燃料費については、運行事業者の担当者とのお話しの中で、軽油など燃料費の大幅な高騰を聞いており、電気も高騰しておりますが、軽油と比較すると費用は抑えられていると聞いております。

○金森委員 知多乗合株式会社取締役社長

- ・燃費ではなく、電費という言葉が社内では使っているが、夏と冬は非常に落ち込む。電気も軽油も価格が高騰している状況だが、軽油と比べると今はだいたい半分くらいのコストに抑えられている。逆に春秋の気候の良い時は3分の1程度に抑えられているので、コスト面でメリットがある。
- ・一方で車両価格が高い。もう1点申し上げたいのが、我々は運行事業を何十年もやってきているが、電気自動車に対する知見がなく、日野自動車のポンチョであれば10年はもつと言ったようなことがわかるが、その辺りの知見が無い。不安になりながらも、環境配慮の観点から進めていきたいと考えている。

○嶋田座長

- ・充電はどこでしているか。

○事務局（岩川）

- ・車庫に戻ってからは、知多乗合株式会社の充電器、昼休憩の時間は役場の急速充電器で充電しています。

○出口委員 大足区区長

- ・少し話が戻るが、ゆめころんについて考える会があるという説明があった。今回、ご意見をアンケートとは別で聞いていないか。

○事務局（岩川）

- ・櫻場委員に会の代表として会議に参加いただいている。アンケートという取り方では無いが、定例会というものを2か月に1回開いており、そこで色々なご意見を普段からいただいております。

○嶋田座長

- ・添付の参考資料について補足いただけるか。

○事務局（岩川）

- ・武豊町地域公共交通計画を策定しており、計画の26ページを抜粋し、参考資料として添付しております。計画では、基本的な方針を5つ定めておりますので、令和7年度の事業計画案につきましては、計画の方針に基づいて事業を実施していきますという参考資料になっております。

○嶋田座長

- ・以前も聞いたかもしれないが、参考資料④にある駅前ロータリーというのはどこか。

○事務局（岩川）

- ・知多武豊駅東の駅前ロータリーを指しています。

○嶋田座長

- ・他にいかがでしょうか。無ければ、議案となりますので、採決を取らせていただきたい。ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

<拍手>

○嶋田座長

- ・拍手多数として承認させていただく。
- ・次に進みたいと思います。

4. その他

●武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

○嶋田座長

- ・それでは、次第の4. その他に移ります。「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等」についてです。会長であります櫻場さんよりご報告をお願いいたします。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・日ごろから考えているのは、バスをいかに便利に使うかというところである。この地域の特性として、自家用車を持っている方が多い。自家用車をやめて、バスを利用するという都市型の環境を整えるには莫大な費用がかかる。それはこの地域には即さない。この地域に即した移動の手段を考えると、タクシーを使うしかないと思っている。バスの不便な部分を補うという事で、接続タクシーという方法を取っているが、考え方をもう少し拡大できるとよい。バス停までしか行けないのであれば、接続タクシーの利用をやめる、躊躇している方がいると思う。拡大への最初のステップとして、病院と買い物の2つの施設をバス停として追加認定して運行できると良い。高齢者は現在無料なので、無料で病院と買い物に行けるようにしたい。ゆくゆくは一般にも広めて、誰もが接続タクシーを利用できるようになると良い。そうすれば車をやめて、公共交通利用が増えると思う。これが爆発的に増えても困るので規制も必要となるが、バスが不便なところを補完できるようにうまくできるとよい。
- ・半田市ではすでに取組みがあるようで、地域でタクシーを共有すること。グループでタクシーを共同で利用する仕組みを作れば、バスの不便な所を補完できる。そうすると車を手放す人も増えてくるので有り難い。車を手放して欲しいと思うのは80歳を超える方で、この前、車から降りてくる方がいたが、杖をついていて満足に歩けていなかった。このような方々が車に乗っていて良いのかと思った。事故を防止する意味でも接続タクシーの使い方をフレキシブルに考えたい。
- ・バスで逆方向ができたとしても、乗ってくれる人はそんなに増えないと思う。夜まで運行したとしても果たして乗ってくれるかどうか。なぜかという、そもそもバスに期待していない人が多いからだと思う。

- ・現実性を持たせるにも、多少は福祉の要素を入れて、移動の手段を考える必要があるのではないかと考えている。そのような事を活動の計画に入れていきたいと考えている。

○森川委員 安全タクシー株式会社取締役

- ・接続タクシーの見直しという事で自宅からバス停留所への移動が出来るように変更いただいた。前回の会議でもお話しさせていただいているが、半田市では、おでかけタクシーという事で、小学校区、タクシーでの距離にするとだいたい3キロが上限になっている。その中で住民の方が行きたいポイントを選んで、登録をいただいて、利用時間が9時から16時までとなっている。需要が爆発的に増えてはいけけないので、300円を利用者にいただくかたちで実施している。恐らく、半田市もハイエースを使ったコミュニティバスを地区のバス会から要望があって、導入した地区が3つあるが、おでかけタクシー制度を利用したほうが費用面的にも抑えられると聞いている。一方で、武豊町の接続タクシーは、多い月でも60回ぐらいの回数である。1日に2回程度。場合によっては利用が無い時もある。武豊町にもタクシー運転手を手配するが、たまたま半田市に行った場合、武豊に戻ってこられないという事もある。半田市の方では、新半田病院が出来て、病院直行タクシー、半田市民であれば病院まで1,000円で行けるという制度も出来た。どのぐらいの需要があるかわからないが、タクシーが半田市の方に取られ、こちらの方へ回せないということも起こりかねない。ぜひとも制度変更をしていただいて、我々を上手く使っていただければと思います。

○事務局（田中課長）

- ・貴重なご意見として承ります。

○出口委員 大足区区長

- ・接続タクシーが一人で使われているという現状を考えた時に、一人のニーズをもう少し聞いて、福祉サービスに行くという目的であれば、福祉の輸送サービスが使えないかなど、考えられることは考えた方が良くかと思った。何か他に個別に対応できる方法があるのであれば、この仕組みを使う必要は無いかと思う。他の利用者についても、何か他の仕組みで対応できないか考えた方が良くかと思う。無くす前提ではなく、利用方法を聞いて、それを代わりに保証ができるのであれば、その方法で対応できれば良いと思う。病院や買い物などに特化した移動手段は、これから必要になってくるかと思うので、しっかり検討する時期に来ている。
- ・今日、役場のバス停を見ていた時に、地面が波打っていて、高齢者がよく躓く姿をみる。乗る方はバスしか見ていないので、安全のために平らにできないだろうか。

○事務局（田中課長）

- ・役場のバス停について把握しておりますので、また改めて確認をさせていただきます。

○嶋田座長

- ・他にご意見、ご質問等ありますか。
- ・無ければ本日全ての事項について終わりました。円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

5. 閉会

○司会（防災交通課長 田中）

- ・座長、議事進行ありがとうございました。
- ・それでは、閉会にあたりまして、会長よりご挨拶を申し上げます。

○朮山会長 武豊町長

- ・本日は長時間にわたり審議賜りまして、ありがとうございます。色々な宿題をいただいたかと思えます。バスとタクシーの有効活用の仕組みを考えること、福祉サービス輸送の活用、アンケート調査のクロス集計、バスルートの検討、半田新病院へのアクセス検討、それから庁舎の中庭のインターロッキング整備など、やれることはやっていきたいと思っています。ただ、半田病院については負担金の話にも繋がるため、慎重に検討を重ねていく必要があります。いずれにしても色々な課題があります。多くの皆様方からご意見、ご提言賜りまして、貴重なご意見だと思っております。
- ・私は、4月26日の任期をもって退任をさせていただきます。この会議への参加も最後となります。長年にわたり、皆様方には大変お世話になりました。今後とも地域公共交通会議の運営に対して、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

○司会（田中課長）

- ・次回「第50回武豊町地域公共交通会議」は令和7年6月下旬に開催する予定です。詳細等につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。
- ・以上をもちまして「第49回武豊町地域公共交通会議」を閉会いたします。ありがとうございました。

以上